



ささえて、ささえられて

かかみがはら



2013年7月15日号 No.153



さわって 読んで

点字サークル「あけぼの会」では、広報などをパソコンを使い点訳をするほか、盲学校からの依頼により、フェルトなどで作成した「さわる絵本」を作成してます。
(那加第一小学校の総合学習より)

中古ノートパソコンをご寄付ください！

点字サークルあけぼの会では、点字入力に使用するノートパソコンを必要としています。
(ウィンドウズXP以上 32bit)
協力いただける方は、社会福祉協議会までご連絡ください。



この広報紙には、皆さんの会費と赤い羽根共同募金が使われています。

社会福祉協議会 会員募集のお願い

— 8月は社協会員募集月間です —



ボランティアハウス 神置町百歳クラブ

各務原市社会福祉協議会は、社会福祉法により「地域福祉の推進役」と位置づけられた公共性をもつ民間の社会福祉団体です。だれもが安心して暮らすことのできる「福祉のまちかかみがはら」を実現するため、皆さまの参加をいただきながら地域福祉活動を推進しています。

この地域福祉活動の財源は、皆さまからご支援いただく会費や寄付金、市からの補助金や共同募金配分金等が財源となりますが、特に会費は、貴重な自主財源であり、各務原市の地域福祉の向上に活用させていただきます。

ぜひ、社会福祉協議会の活動にご賛同いただき、一人でも多くの方に会員になっていただきますようお願い申し上げます。

個人の方には自治会を通して、法人・事業所の方には民生委員児童委員さんからご依頼させていただきます。ぜひともご協力をお願い申し上げます。

●個人の方

特別会員	1,000円以上
一般会員	500円以上

●法人・団体の方

賛助会員	5,000円以上
------	----------



皆さんからいただいた 会費 500 円の使われ方 (平成 24 年度)

支部社協の活動に

支部交付金



・支部社協の独自事業に
(175円：35%)

メニュー事業 助成金



・事業の開催に応じて助成
(260円：52%)

高齢者を囲む会、福祉座談会、ボランティアハウス、支部だより、近隣ケアグループ研修会、横断旗の設置など

市社協の活動に



・市全体の福祉活動に (65円：13%)

知的障がいを理解する講座、市民福祉講座、ボランティア養成講座、社協かかみがはらなど



災害ボランティアセンター訓練



ボランティアハウス 松本町パンダクラブ



ボランティア活動支援

ボランティアハウス紹介

ボランティアハウスは歩いて行ける地域の公民館などに集い仲間づくりの輪を広げる福祉活動です。

「羽場やすらぎサロン」「緑苑Green Network」

「羽場やすらぎサロン」

羽場集会場では、毎月第2水曜日にボランティアハウス羽場やすらぎサロン（代表：薫田昭美さん 鶴沼第一連合支部）が開催されています。

このサロンは平成23年4月に立ち上がったサロンです。当初は血圧測定を行うなどいろいろと試行錯誤をされたそうです。しかし、参加者の方から「この羽場には何もせんほうぐええわね。」と言われたことで、肩の力が抜け、「お茶とお菓子と場所だけ準備しよう。あとは皆さんがそれぞれ好きな話をして楽しんでもらおう」と考えられたそうです。



この日は、一時間ほど談笑された後カラオケの準備をしていきましたが、「あれ？どこへつなぐんや？」「毎回やっても覚わらん」など、準備する姿にも笑い声が上がリ、楽しく和やかな雰囲気でした。

いい意味で誰かが目立つサロンではなく、参加される皆さん自身がサロンを運営しているようなアットホー

ムな印象の空間でした。毎月第2水曜日（10時～12時）お近くの方はぜひ、のぞいてみてください。



「緑苑Green Network」

緑苑コミュニティセンターでは、パソコンの操作を互いに学ぶボランティアハウス「緑苑Green Network」（代表：高柳吉之さん 緑苑連合支部）において、スマートフォン（以下「スマホ」）の講習会が行われました。

この講習会は、パソコンを使いこなせるようになった参加者の中でも、最近話題になっていくスマホに興味はあるものの、よく知りたいと思っている人が多くいることが明らかとなったからです。「それなら、プロにお願いして講習会を開いてみよう！」とすぐに携帯電話会社に掛け合い、講習会の実施に至りました。

参加者は初めて触れるスマホにドキドキワクワク。
講師の指導のもと、カメラ機能を使い撮影をしたり、スマホの便利さと楽しさを学びました。歓声や講師を呼ぶ声があちこちからあがっていました。参加者は疑問に思っていたことが明らかとなり、意義のある講習会となったようです。

このように気になったことにはすぐに取り組む、機動力のある「緑苑Green Network」でした。





平成24年度社会福祉協議会事業報告

少子高齢化や非正規雇用問題など社会環境の変化に伴い、家庭や地域における連帯感の希薄化が進み、生活課題は一層多様化・深刻化しています。地域福祉を推進する当会においては、地域福祉活動計画の中間年として、「ささ

えてささえられて みんなが主役のまちづくり」をテーマに地域住民や支部社協をはじめとする各種団体、ボランティアなどと幅広い協働・連携を図り、地域福祉活動の拠点づくりや仕組みづくりを行いました。



重点事業①

住民が主役となり展開していく
支部社協活動の推進



那加一支部 座談会の様子

「座談会で地域のつながりを考えてみよう事業」を全ての支部社協で開催しました。
支部社協の活動拠点を、補助金を活用して市内2ヶ所（鶴沼第二連合支部・緑苑連合支部）に整備しました。

重点事業②

声かけと見守り活動を中心に
した近隣ケアグループ活動の
啓発

支部社協を主体に近隣ケアグループ研修会を行い、見守り体制の仕組みづくりを行いました。

近隣ケアグループ 293グループ
活動員数 2079人
研修会の開催 15支部 計17回



陵南支部 近隣ケアグループ研修会

重点事業③

地域の身近なよりどころ、交
流の場であるボランティア
ハウスの充実



ボランティアハウス 町の駅（蘇南南部支部）

地域の皆さんの協力を得て、新たに6ヶ所のボランティアハウスが立ち上がりました。（市内76ヶ所）子育て中の親子を対象とした親子サロンに對しての活動助成や、障がい者のサロンの立ち上げ支援を行いました。



重点事業⑤ 地域資源を活用した質の高い介護保険サービスの提供

在宅生活を支えるために個々の状態に応じた適切な介護保険や障がい者サービスを提供しました。
 (居宅介護支援事業・ホームヘルプ事業・訪問入浴事業・デイサービス事業・地域包括支援センター事業)

重点事業④ 生きがいや楽しみを感じながら取り組めるボランティア活動の実践

支えあいサポーター塾を開催しました。(35名修了)

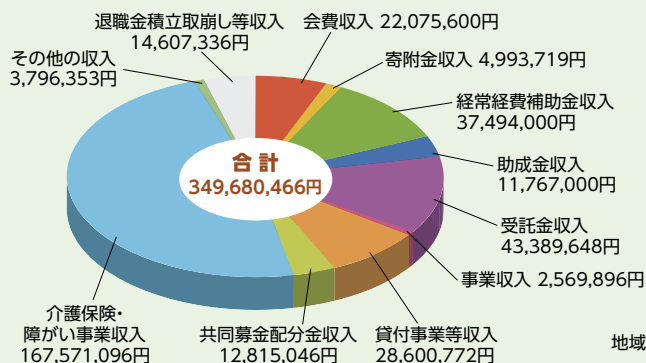
小学生とボランティアの協力を得て、災害ボランティアアセンタ―立ち上げ模擬訓練を開催しました。「知的障がいを理解をする講座」(参加者35名)や障がい者わくわくウォーキング大会(参加者32名)を開催しました。



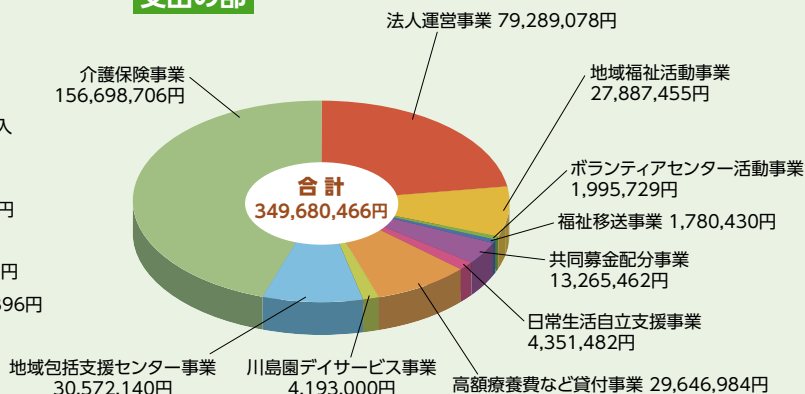
ボランティア Team911 各務原による応急手当講習

平成 24 年度 資金収支決算報告書

収入の部



支出の部



平成 24 年度の取り組みが動画になりました。



掲載した重点事業のほかにも、さまざまな事業を行っています。紙面に載せきれないこともあり、ウェブサイトでも事業報告・決算を掲載しています。

また、24年度の取り組みを動画でも紹介しておりますのでぜひご覧ください。

アドレス

<http://www.kakamigahara-shakyo.jp/>

その他事業

会員募集実績

- ・一般・特別会員 36,727 世帯 18,622,100 円
- ・賛助・団体会員 821 団体 3,453,500 円

ファミリーサポートセンター事業

- ・コーディネート実績 553 件
(利用会員 225 名、サポート会員 60 名、利用会員兼サポート会員 10 名)

ボランティア登録

- ・団体登録 89 団体 2,483 名
- ・個人登録 83 名 (うち 24 年度新規登録 20 名)
- ・ボランティア情報配信登録 33 名
- ・災害ボランティア登録 118 名

福祉有償運送事業

- ・利用件数 1,281 件 走行距離 6,335km
- ・利用料収入 717,610 円

日常生活自立支援事業

- ・契約件数 23 件 (内、24 年度新規契約件数 12 件)

生活福祉資金貸付事業

- ・平成 24 年度新規貸付件数 68 件
- ・貸付に関する相談 延べ 608 件

高額療養費貸付事業

- ・貸付件数 301 件
- ・貸付者数 82 人

さぽーと

家族形態の変化や地域の連帯感の希薄化により身近に気軽に相談できる相手を求めにくくなっています。「暮らし相談室さぽーと」では、市民の皆さんが安心して生きがいのある生活を送ることができるよう、福祉に関するあらゆる相談に応じ、各関係機関の紹介など問題解決のお手伝いをします。



また、介護保険やさまざまなサービスを利用することが必要であるにもかかわらずサービス拒否をされる方、ごみ屋敷状態

権利擁護について

「権利擁護」というと、その文字の雰囲気からしてわかりにくく、馴染みが薄いと思われるかもしれませんが、本当は私たちの暮らしに大きく関係しています。

振込め詐欺や訪問販売、ことば巧みな悪徳商法などは減少するどころか増えていますが、これらの被害で泣き寝入りをするように自分自身や人々を守ることに最も代表的な「権利擁護」です。

であるのにヘルパーや近隣の関わりを拒む方など、身近に頼れないでしようか？このような場合は、認知症やさまざまな原因で自身が置かれている状況が適切に判断できず、必要なサービスを利用するという権利行使が不十分な状態にあるといわなければなりません。また、もの忘れが進んで預金通帳の管理や支払いがうまくできない、今は元気で一人暮らしができていたが、将来判断能力が低下した時の生活がどうなるのかと不安を抱えている方など、それぞれ「権利擁護」が必要な状態といえます。

このような不安や気がかりがある場合、大事に至らない前に「暮らし相談室さぽーと」にご相談ください。判断能力に大きな支障はないが日常的な金銭管理やサービス契約などが不安や困難である方を支援する『日常生活自立支援事業』、判断能力低下により財産管理や契約行為を行う代理人を必要とする『成年後見制度』、その他資源活用を含め検討し、相談者が自身の利益を守り自分らしく生活していけるよう、支援させていただ

きます。必要に応じて多様な専門職や行政、司法などの関係者や機関とも連携していきます。もちろん、秘密厳守ですのでご安心ください。

第2回市民福祉講座

暮らしを守る権利擁護セミナー

社会福祉協議会では認知症になっても心身に障がいをもって、自分らしい生活が続けられるよう支援しています。本人に代わって必要な介護サービスを契約したり、権利を守る仕組みの一つである「成年後見制度」について、わかりやすい寸劇と講演によるセミナーを開催します。



- 日時** 10月5日(土) 午後1時30分～午後3時30分
- 第一部** 寸劇『いつまでもここで暮らしたい』
在宅生活の味方—成年後見制度
出演 東海学院大学 劇団サークルなごみ[和]
- 第二部** 講演『よくわかる成年後見制度 ～なぜ必要な？本人をどうやってする？実家の床下に不必要な耐震工事を発見した息子は…～』
講師 渡辺哲雄氏(日本福祉大学専門学校専任講師)
- 会場** 各務原市文化ホール(蘇原中央町)
- その他** 入場は無料です。
- 問合せ** 社会福祉協議会総務課 ☎058-383-7610



暮らし相談室 さぽーと

☎ 058-383-7610

▼Eメール
shakyo@chive.ocn.ne.jp

夢を叶えるお手伝い

ボランティアセンターより

4月25日 岐阜長良川球場で行われたプロ野球公式戦「ジャイアンツ対ベイスターズ」。多くのファンで埋まった外野席には、夢を実現できた住田さん(73)の笑顔がありました。

3月下旬。お知り合いからいただいたプロ野球の公式戦チケットを手にし、『大好きなプロ野球を見に行きたい!』と強く感じた住田さん。しかし、近くで開催されるものの長良川球場まで行かないし、あいにく連れ添う仲間もいない。そして、一番の心配は、長時間の移動や外出に耐えられるかどうか。不安ばかりで諦めかけましたが、日に日に最後のチャンスかも!との思いが強まり、担当のケアマネジャーに相談し、ボランティアセンターへボランティア派遣の依頼がありました。



そんな思いに応えてくれたのは、ボランティアの北山知明さんと廣井一郎さん。

特に北山さんは、本業は介護職ではないのですが、ヘルパー資格があり、その視点から駅の階段数から電車とホームの間隔幅、お弁当情報に至るまで、ヘルパーの視点で事前に調べていただけました。満員となったバスで歩行器を使用しながらの移動は、付き添いが必要ではなかったこと。スタジアムでも、周囲の巨人ファンにも協力を求め、住田さんの身体への負担を減らした野球観戦を楽しんでいただくことができました。



外で食べるお弁当はひと味違います。

住田さんは、スタジアムで迫力のある応援の中、焼肉弁当を味わい、好きなカメラで野球選手の写真を撮ったり。テレビ観戦



では味わえない臨場感を楽しめました。

長い時間を歩いたのが3年ぶりとのことで、翌日はお昼まで起きられなかったようですが、諦めかけた夢を実現することができ、ボランティアのお二人にはとても感謝しておられました。

夢や希望という
と少し大げさかも
もしれませんが、生
きていく上では、
何か目標や楽しみ
がないと生活にハ
リが出てこない
と思います。困
難なことがあっ

てもやりたいことに向かって努力することや、共感してくれる人の協力を得て、目標を達成し、充実感を味わってほしい。

ボランティアセンターでは、こうした制度では対応できないニーズに対してボランティア調整をしています。また、協力してくださるボランティアさんも求めています。

お気軽にご連絡ください。お待ちしております。

社協ボランティアセンター ☎058-383-7610



声かけする廣井さん。



いい写真が撮れました?

募集!
正職員募集

各務原市社会福祉協議会では、次の通り正職員を募集いたします。内容をご確認のうえ、ぜひご応募ください。

採用期日 平成25年10月1日
受験要件 昭和53年4月2日以降に生まれ、現に社会福祉士の資格を有する者
募集人員 1名
1次試験日 8月4日(日)
備考 申込期限 7月31日(必着)。申込書は社協のウェブサイトを又は社協事務局まで
問合せ 総務課 ☎058-383-7610

募集!
はじめての手話講座

耳の不自由な方にとって大切なコミュニケーション手段の一つである手話を学びます。

日程 8月23日～12月20日までの毎週金曜日(全18回) 19時～21時
場所 総合福祉会館3階 集会室(那加桜町2-163)
定員 40名 テキスト代 1200円
申込 総務課 ☎058-383-7610

福祉フェスティバル2013
9月8日開催!

日時 9月8日(日) 9時～15時
場所 各務原市民会館 (蘇原中央町)
 楽しく、おいしく、学べる! 福祉フェスティバルにお誘い合わせのうえ、お出かけください。
 詳細は9月1日の全戸配布チラシでご確認ください。



募集!
要約筆記講座
受講生募集!

聞こえに障がいがある方(中途失聴者)に、講演や研修会の場合でOHPやノートに話す内容を書き写して伝えるものが要約筆記です。夜間と土曜日開催ですので、仕事をされている方や学生の参加もお待ちしております。

日程

コース	1回目・2回目	3回目
①	10/24(木)・11/7(木) 19時～21時	※①、②コースともに 11/6(土) 9時30分～11時30分
②	10/26(土)・11/9(土) 9時30分～11時30分	

場所 総合福祉会館3階 研修室(那加桜町2-163)
内容 難聴のしくみ・要約筆記とは・体験
定員 各20名(1回のみ参加可)
申込 総務課 ☎058-383-7610 FAX 058-382-3233

募集!
知的障がい児
「夏休みふれあいキャンプ」
ボランティアさん募集

日時 8月2日(金) 9時～8月3日(土) 12時頃まで
場所 少年自然の家(鵜沼小伊木町)
内容 知的障がい児(主に小中学生)のキャンプに参加し、ゲームや食事づくりなどを一緒に楽しみます。
参加費 無料
募集人員 10名(条件:高校生以上。宿泊できる方が優先ですが、1日でも可(要相談))
申込 各務原市手をつなぐ育成会
連絡先 大谷 ☎058-384-8313
 三島 ☎058-322-9550

岐阜県ボランティア
フェスティバル'13 開催します

ボランティア・市民活動の意義を考え、新たなつながりを創造するきっかけとすることを目的に開催します。
日時 9月28日(土) 12時30分～16時
場所 各務原市民会館(蘇原中央町)
内容 ボランティア・福祉活動実践活動発表
記念講演 桂福点さん(落語家)
主催 岐阜県社会福祉協議会
その他 入場は無料ですが、事前申込が必要です。
申込 総務課 ☎058-383-7610

善意のご寄付をいただき
誠にありがとうございました

敬称略 順不同 平成25年4月1日～5月31日

【金 銭】

かかみがはらキルト展運営委員会	20,000円
波多野 耕三	9,000円
匿名	3,275円
鵜沼地区歌謡教室	
チャリティ合同発表会実行委員会	70,725円

ひ
と
り
ご
と

先日、子どもの理科の観察で、あおむしを飼うことになりました。畑のおじさんにいただいたのですが、おじさんのキャベツはよく食べ、あつという間に大きくなりました。しかし、スパーのキャベツをいれたら、全く食べてくれません。子どもとても不思議そうに観察していました。その後、さなぎになり、モンシロチョウになって飛び立っていきました。
 食べ物の安全が言われる時代ですが、あおむしの好むキャベツがあるように、安全な食べ物について考えさせられる出来事でした。

菅原 いづみ